

議会だより

ながのはらまち

2017

JULY

7

No. 112

5月臨時会や6月定例会の内容をお伝えします

目次 CONTENTS

町議会が
新体制になりました 2-3頁

役場新庁舎等の
工事請負契約を可決 5頁

6月定例会の概要 4頁

平成29年度補正予算 6頁

6月定例会の内容 6-8頁

平成28年度企業会計決算 9頁

請願・陳情の審査結果 10-11頁

ここが知りたい一般質問 12-14頁

写真：長野原町防災フェスタ（関連記事16頁）



1

▲ 新議長に浅沼克行議員(右)、副議長に黒岩巧議員(左)が就任しました



3

▲ 議長選挙の様子。黒岩新副議長が代理で議長の職務を行いました



2

▲ 議長選挙後に黒岩新副議長と議長の職務を交代した浅沼新議長

新議長就任など

町議会が新体制に

新議長に
浅沼前副議長が就任

平成29年5月第2回長野原町議会臨時会が5月16日(火)に開催され、任期満了に伴う常任委員会委員や議会運営委員会委員の選任、新議長・副議長の選挙などが行われ、議会構成が変更となりました。

選挙の結果、新議長に浅沼克行議員(上写真1右)が就任し、新副議長には黒岩巧議員(上写真1左)が就任しました。なお、新たな議会構成については次のとおりです(敬称略)。
(※)特別委員会委員の選任については6月13日

常任委員会と特別委員会

1) 常任委員会
議会が合理的・能率的な審査や調査ができるよう条例で置くことができる(任意制の)委員会。各部門に属する事務調査や議案、請願などを審査する。

2) 特別委員会
議会の議決で付議された(特定の)事件を調査・審査するため、条例で置くことができる委員会。

(火)に開かれた平成29年6月第2回長野原町議会定例会の最終日に選任されました。

【正副議長】

議長 浅沼 克行
副議長 黒岩 巧

【議会運営委員会】

委員長 大羽賀 進
副委員長 浅井 進
委員 入澤 勝彦
委員 豊田 銀五郎

常任委員会の所管事務

1) 議会運営委員会

議会の運営や会議規則、議長しもんの諮問に関する事項等の調査を行い、議案や請願等を審査する委員会。

2) 総務文教常任委員会

町の財政や社会福祉、民生、教育その他等、ほかの委員会に属しない事項を調査・審査する（常任）委員会。

3) 産業建設常任委員会

産業経済や商工観光、地域振興、土木建設、道路河川、上下水道に関する事項を調査・審査する（常任）委員会。

委員長 牧山 明	【国道改良等促進特別委員会】	委員 大羽賀 進	委員 黒岩 巧	委員 入澤 信夫	副委員長 富澤 重男	委員長 豊田 銀五郎	【産業建設常任委員会】	委員 浅沼 克行	委員 浅井 進	委員 篠原 茂	副委員長 牧山 明	委員長 入澤 勝彦	【総務文教常任委員会】
委員 ほか8議員	【災害対策特別委員会】	委員長 浅沼 克行	副委員長 黒岩 巧	委員 黒岩 巧	委員 富澤 重男	副委員長 篠原 茂	【八ッ場ダム対策特別委員会】	委員 浅沼 克行	委員 大羽賀 進	委員 入澤 勝彦	委員 浅井 進	副委員長 入澤 信夫	

議長就任のご挨拶

このたびの5月臨時会において議員皆様のご推挙により、議長という大役を仰せつかりました。身に余る光栄であり深く感謝申し上げますと共に、責任の重さを深く感じております。

長い間、本町の最重要課題でありました「八ッ場ダム」につきましても、政権交代など紆余曲折ありましたが、平成31年度にはダム本体完成という最終局面を迎えつつあります。今後は、ダム完成後のあり方を見据え、考えて行かなければならないと感じております。

さらに本町は、産業振興や雇用の場の確保、少子高齢化問題など行政が関わらなければならない諸問題を抱えております。

町議会といたしましても「住みよい町づくり」を目指し、そのために是々非々の気持ちぜぜひひを常にもって対応していく所存でございます。

今後とも、町議会に対しましてご指導、ご鞭撻べんたつを賜りますようお願い申し上げます。



議長 浅沼 克行

6月定例会で

全案件可決・同意・認定

平成29年6月第2回長野原町議会定例会は、会期を6月6日から13日までの8日間とし、同月6日・13日に本会議が開かれました。

企業会計決算など 全33議案を可決

6月定例会では人事案件12件、条例改正2件、契約の締結・変更7件など全33議案を原案のとおり可決（同意・認定）しました。

定例会2日目には平成28年度2企業会計（浅間上水道事業会計・北軽井沢簡易水道事業会計）の決算認定が行われ、審議の結果、両会計決算を認定しました。
また、5月31日までに



受理された陳情15件は定例会初日に各常任委員会へ付託され、慎重審議の結果、採択13件、不採択2件となりました。（関連10～11頁）

なお、定例会2日目に行われた一般質問は黒岩議員と牧山議員の2名が登壇し、質問を行いました。（関連12～14頁）

■ 6月定例会で可決・同意・認定された議案一覧（順不同）

議案番号	議案名	備考
同意第1号	町農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	
同意第2号 ～ 同意第13号	町農業委員会委員の任命同意について（12名）	関連6頁
議案第1号	町税条例の一部を改正する条例制定について	関連7頁
議案第2号	町立学校施設の使用に関する条例の一部を改正する条例制定について	関連7頁
議案第3号	町道路線廃止について（町道1-11号線他8路線）	関連8頁
議案第4号	町道路線認定について（町道4-27号線）	
議案第5号 ～ 議案第9号	工事委託契約の締結について（町道関係）	関連7頁
議案第10号	工事委託契約の変更について（八ッ場ダム観光用エレベータ設置工事）	
議案第11号	平成29年度町一般会計補正予算（第1号）について	関連6頁
議案第12号	平成29年度町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について	
議案第13号	平成29年度町へき地診療所特別会計補正予算（第1号）について	
議案第14号	平成29年度町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について	
議案第15号	工事請負契約の締結について（町役場新庁舎・住民総合センター新築工事）	関連5頁
選挙第1号	西吾妻衛生施設組合議会議員の補欠選挙について	関連12頁
選挙第2号	西吾妻環境衛生施設組合議会議員の補欠選挙について	
選挙第3号	西吾妻福祉病院組合議会議員の補欠選挙について	
認定第1号	平成28年度町浅間上水道事業会計決算認定について	関連9頁
認定第2号	平成28年度町北軽井沢簡易水道事業会計決算認定について	



▲ 萩原町長が登壇し、議案の提案理由を述べる様子（6月6日・定例会初日）

町役場新庁舎・住民総合センター新築工事

工事請負契約を可決

長野原町役場新庁舎・

住民総合センター新築工事請負契約の締結について無記名投票により採決し、全員賛成で可決しました。（6月13日・本会議）



▲ 新庁舎と住民総合センター（イメージ）

■ 契約金額

17億9280万円

（うち取引に係る消費税および地方消費税の額1億3280万円）

■ 契約の相手方

佐田・吉澤・東光特定建設工事共同企業体

〔代表者〕

佐田建設株式会社
代表取締役社長 荒木 徹

■ 契約の目的

長野原町役場新庁舎・住民総合センター新築工事

質疑応答

Q① 指名業者等の入札概要説明を

黒岩議員 指名業者や入札回数等の入札概要を。

A① 4企業が参加し1回で落札

総務課長 業者について

は4月中旬に予備指名を行い、5月2日の締切時点で4企業体となった（左記参照）。この4企業体で入札を行ったところ1回で落札となった。

■ 入札に参加した4企業体
①池原・ランドリサー
千竹内組特定JV

②南波・野口・黒田特定JV
③佐田・吉澤・東光特定JV
④渡辺・都・大和特定JV
（順不同）

（※）JVは共同企業体のこと。

Q② この入札の落札率は

牧山議員 この入札における落札率はどのくらいになったのか。

A② 適正な率と判断

総務課長 おおよそ99%くらい。

平成29年度一般・特別会計補正予算

4会計合わせ約4,500万円増

平成29年度一般・特別会計4会計の補正予算を原案（左表参照）のとおり可決しました。（6月6日・本会議）

一般会計補正予算につ

■平成29年度一般・特別会計補正予算表（6月定例会分）

会計名	補正額	補正後の総額
一般会計	4,251万3千円	88億9,192万3千円
国民健康保険特別会計	365万8千円	9億400万1千円
へき地診療所特別会計	△181万円	8,193万1千円
簡易水道事業特別会計	23万6千円	2億416万7千円
合計	4,459万7千円	-

いては、熊の内橋（北軽井沢）補修工事における単価見直し等による設計額の増額や、防災フェスタ開催に伴う委託費の追加などにより4251万3千円の増額補正となりました。

国民健康保険特別会計補正予算については、主にヘルスアップ教室などの各種保健指導実施に伴う事業委託費の追加により、365万8千円の増額補正となりました。

また、ほか2特別会計は人事異動に伴う人件費の増減が主なもので、一般会計と3特別会計合わせ4459万7千円の増額補正となりました。

補正予算質疑

Q. ふれあい広場の遊具の維持を

黒岩議員（一般会計補正予算）ふれあい広場（北軽井沢）にある遊具の補修・撤去費用200万円が増額となつてい

A. 予算等を考慮し検討したい

産業課長 今回の増額補正については撤去がメインとなつている。補修もする中で、現在のところすべり台は撤去する方向である。今後は予算等を考慮しながら検討したい。

農業委員

12名を任命しました

現在活動している町農業委員会委員の任期満了に伴い、新委員12名の任命について次のとおり全員一致で同意しました（敬称略・順不同）。なお、新委員は7月20日より活動を行います。

- ・金子（横壁）
- ・渡（林）
- ・佐藤（長野原）
- ・富澤（大津）
- ・櫻井（羽根尾）
- ・篠原（与喜屋）
- ・佐藤（応桑）
- ・入澤（応桑）
- ・倉田（応桑）
- ・小金澤（北軽井沢）
- ・山村（北軽井沢）
- ・大澤（北軽井沢）

委員に関する例外規定を同意

農業委員会等に関する法律では委員の過半数を認定農業者とすることとされています。本町の農業委員会委員は、認定農業者の数が委員の過半数に達していませんが、例外規定により、委員の少なくとも4分の1を認定農業者および認定農業者に準ずる者で同意しました。なお、新委員のうち認定農業者は3人、認定農業者に準ずる者は2人となっております。（※）町内の認定農業者数が委員定数の8倍未満の場合に例外規定によることができます。

5 町道改築工事の委託契約を可決

町道川原湯温泉幹線街路や町道林長野原線など町道改築工事の委託契約

ダム関連工事委託の変更契約可決

5件（下表参照）を無記名投票により採決し、全員賛成で可決しました。（6月6日・本会議）

ハツ場ダム観光用エレベータ設置工事は国土交通省に委託し、工事を進めています。

今回の変更契約はエレベータを国土交通省が河川管理施設の一部として整備することとしたため、1億9735万1千円を減額し総額1億2176万円で契約を締結するもので、無記名投票による採決の結果、全員賛成で可決しました。（6月6日・本会議）

■契約の相手方

関東地方整備局長
大西 亘

901万9259円

中央小学校屋内プール 照明料・使用料徴収規定を整備

中央小の屋内プールを町内外のクラブや団体等へ貸し出しする際の照明料、町外者や営利目的の町内者へ貸し出しする際の使用料を徴収する規定を整備されていなかったため、町立学校施設の使用に関する条例の一部を改正しました（下表参照）。（6月6日・本会議）

■条例改正により追加された照明料・使用料

1) 中央小の屋内プール照明料について

町内外者とも1時間につき2,000円を徴収

2) 中央小の屋内プール使用料について

	営利目的町内者	町外者
1時間あたり	1,000円	2,500円

■契約の目的

ハツ場ダム観光用エレベータ設置工事（平成28年度～30年度）

■契約金額

〔変更前〕

3億1911万1千円
（うち取引に係る消費税および地方消費税の額2363万7851円）

〔変更後〕

1億2176万円
（うち取引に係る消費税および地方消費税の額

■工事委託契約を締結した町道関係工事一覧（6月定例会分）

契約名	契約金額	契約の相手方
町道川原湯温泉幹線街路改築工事	8,062万7千円	関東地方整備局長 大西 亘
町道林長野原線改築工事	3億9,564万円	
町道林長野原線改築工事(その2)	4億円	
町道林長野原線改築工事(その3)	2億円	
町道林線改築工事	5,000万円	

※ 契約金額は取引に係る消費税および地方消費税の額を含む

町税条例を一部改正しました

わがまち特例の追加を行いました

地方税法の一部改正に伴い、長野原町税条例の一部を改正しました。（6月6日・本会議）

主な改正内容は、固定資産税等における課税標準のわがまち特例を追加するもので、家庭的・住宅訪問型・事業所内保育事業の許可を受けた者が当事業を行う事業所の家屋や償却資産の固定資産税について、課税標準額に乘ずる割合を2分の1とするものです。なお、この特例は平成30年度以降の固定資産税について適用します。



▲ 認定された町道4-27号線

町道1路線認定、 9路線廃止

町道4-27号線を
認定しました

林地区東原代替地内の
道路である町道4-27号
線は国道145号バイパ
スと県道林長野原線を結
ぶ道路です（左写真）。
今回、土地利用のための

進入路として必要である
ことから、町道として認
定しました。（6月6
日・本会議）

なお、認定された町道
4-27号線の概要につい
ては下表のとおりです。

ダム建設に伴い 町道9路線を廃止

八ッ場ダム建設事業に
伴い道路機能が失われ、
一般交通に供する必要が
なくなったため、町道9
路線を廃止しました。
（6月6日・本会議）
なお、廃止された9路
線の概要については下表
のとおりです。

■認定した町道路線一覧（6月定例会分）

路線名	起点地番	終点地番	延長	幅員
町道4-27号線	大字林字東原1489番6	大字林字東原1552番27	239.40m	4.00～6.00m

■廃止した町道路線一覧（6月定例会分）

路線名	起点地番	終点地番	延長	幅員
町道1-11号線	大字川原畑字東宮乙406番	大字川原畑字東宮410番	132.82m	1.00～3.10m
町道2-1号線	大字川原湯字東久保440番2	大字川原湯字金花山林班131	268.47m	4.40～15.70m
町道2-2号線	大字川原湯字新井門408番1	大字川原湯字東久保446番2	677.20m	1.00～1.60m
町道2-3号線	大字川原湯字新井門407番4	大字川原湯字新井門408番4	108.92m	2.85～3.00m
町道2-4号線	大字川原湯字西ノ上334番	大字川原湯字西ノ上甲353番	120.12m	1.30～2.25m
町道2-5号線	大字川原湯字前原137番2	大字川原湯字前原136番1	620.24m	1.70～2.90m
町道3-5号線	大字横壁字勝沼938番1	大字横壁字勝沼951番1	65.23m	2.85～3.56m
町道3-12号線	大字横壁西久保117番	大字横壁西久保124番3	61.48m	3.40～3.70m
町道4-18号線	大字林字久森甲1663番1	大字林字久森乙1668番1	130.90m	4.90～12.00m

5月臨時会

専決処分
3件を承認

専決処分の承認

■町税条例の一部を改正
する条例

「概要」

地方税法等の一部改正
に伴う、軽自動車税にお
けるグリーン化特例の適
用期限延長などが主な改
正内容です。

■町国民健康保険条例
の一部を改正する条例

「概要」

所得者に課税する国民
健康保険税軽減の拡充を
図るため、5割軽減世帯
や2割軽減世帯の軽減判
定所得を見直すもので
す。この改正により、軽
減対象となる所得が引き

平成28年度
企業会計決算
認定

浅間上水道事業・北軽井沢簡易水道事業会計

2 企業会計決算を認定

平成28年度浅間上水道事業会計や北軽井沢簡易水道事業会計の決算を原案のとおり認定しました。(6月13日・本会議)

質疑応答

Q①. 老朽配水管の
布設替え状況は

黒岩議員 監査委員の指摘で老朽配水管の計画的な更新を行うべきとある

が、2事業とも残っている石綿セメント管はあるのか。また、布設替えの進捗状況は。

A①. 道路改良工事
等と同時に実施

上下水道課長 浅間上水道事業については、石綿セメント管と布設替え済みの塩化ビニル管それぞれ約50%。北軽井沢簡易水道は石綿セメント管が

約20%で塩化ビニル管が約80%。

更新計画については、道路や下水道の工事と同時に実施しており、その他については予算の範囲で行っている。

Q②. 収益に対する
支出が大きい

篠原議員 2会計とも収益に対する支出が大きい。見直しは。

A②. 費用軽減に努
めたい

上下水道課長 例えば浅間上水道事業では、設備等更新による減価償却費の増額等が要因で支出が大きい。
今後は投資的な支出が減る見通しである。会計

の健全性確保のため、今後も更なる費用軽減に努めたい。

上げられ、対象世帯が拡充されます。

※軽減判定所得

世帯の国保加入者全員の総所得金額等を合算した金額

■町水源地域における固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例

「概要」

本町では八ッ場ダム建設に伴う代替地への移住により、移住者が家屋等を取得した場合の固定資産税急増による負担を緩和するため、固定資産税の減免を実施しています。

今回の改正はこの減免制度の期限を2年延長し、平成31年3月31日までとするものです。

収益的収支と資本的収支

1) 収益的収支 (損益勘定)

企業の1事業年度における営業活動で発生する収益とそれに対応する費用。
(※) 減価償却費のような現金の支払いが生じない費用も含まれる。

2) 資本的収支 (資本勘定)

公営企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費(固定資産の新規取得や増改築等に伴う経費)や、これに係る企業債償還金などの投資的な支出と財源(収入)。

■平成28年度企業会計決算認定概要

会計名		収入決算額	支出決算額	差引
浅間上水道事業会計	収益的	4,453万3,081円	5,413万7,423円	△960万4,342円
	資本的	—	802万5,582円	△802万5,582円
北軽井沢簡易水道事業会計	収益的	6,621万5,580円	7,538万7,486円	△917万1,906円
	資本的	867万9,558円	2,198万1,548円	△1,330万1,990円
				(消費税込)

請願・陳情の審査結果

各常任委員会の審議概要

総務文教常任委員会

街路灯や消火栓器具交換など 陳情全3件を採択

付託された陳情3件について、6月6日（火）に審査を行いました。

応桑区長より提出された街路灯の器具交換についての陳情(受理番号8号)

は30%補助の採択とし、北軽井沢区長提出の町道10-47号線にある消火栓器具交換についての陳情(受理番号11号)については75%補助の採択としました。

また、林区長から提出された横断歩道設置をお願いする陳情(受理番号5号)は関係機関へ要望することで採択しました。

産業建設常任委員会

付託陳情12件中、10件を採択 不採択2件は代替処置対応

付託された陳情12件について、6月6日（火）に審査を行いました。

大津区長と大津用水組合長の連名で提出のあった大津用水路改修関係の陳情(受理番号6号)は採択とし、羽根尾区長から提出のあった町道7-9号線拡幅・水路整備についての陳情(受理番号7号)は、年次計画対応の採択

としました。

また、応桑区長提出の町道整備関係陳情2件(受理番号9・10号)は年次計画対応の採択としました。北軽井沢区長提出の県・町道関係陳情8件は6件(受理番号12号～16号・19号)を関係機関要望や調査後対応の採択とし、道路舗装をお願いする陳情2件(受理番号17・18号)は舗装の必要は少ないと判断し、不採択としましたが掘れた部分の修正など路面修正を行うこととしました。



▲ 受理番号17号(今井テニスコート付近)



▲ 受理番号18号(星の子付近)

■ 請願・陳情の審査結果一覧

受理番号	件名	提出者	結果
5号	横断歩道設置についての陳情 (県道林長野原線内)	林区長 篠原 久之	採 択 (関係機関へ要望)
6号	大津用水路二勤支線改修についての陳情	大津区長 篠原 則夫 大津用水組合長 市村 雄平	採 択
7号	町道7-9号線の一部片面の拡幅工事及び河川敷までの水路整備についての陳情	羽根尾区長 熊川 美津男	採 択 (年次計画により対応)
8号	街路灯の器具取り換えについての陳情	応桑区長 浅井 昭一	採 択 (30%補助)
9号	道路補修工事についての陳情 (応桑住宅団地内)	応桑区長 浅井 昭一	採 択 (年次計画により対応)
10号	町道側溝の溝蓋設置についての陳情	応桑区長 浅井 昭一	採 択 (年次計画により対応)
11号	町道10-47号線消火栓器具交換についての陳情	北軽井沢区長 石田 俊雄	採 択 (75%補助)
12号	町道大屋原2号線・10-17号線・10-20号線、10-8号線と10-16号線の交差部における舗装の修復についての陳情	北軽井沢区長 石田 俊雄	採 択 (調査後対応)
13号	町道大屋原1号線における落石についての陳情	北軽井沢区長 石田 俊雄	採 択 (調査後対応)
14号	町道北軽井沢湯沢線拡張についての陳情	北軽井沢区長 石田 俊雄	採 択 (調査後対応)
15号	県道長野原倉淵線の道路側溝の清掃についての陳情	北軽井沢区長 石田 俊雄	採 択 (関係機関へ要望)
16号	県道長野原倉淵線の枝切りについての陳情	北軽井沢区長 石田 俊雄	採 択 (関係機関へ要望)
17号	砂利道の舗装についての陳情	北軽井沢区長 石田 俊雄	不採択 (路面修正で対応)
18号	国道146号から嶋村■邸前の道路の舗装についての陳情	北軽井沢区長 石田 俊雄	不採択 (路面修正で対応)
19号	町道地蔵堂2号線舗装の修復についての陳情	北軽井沢区長 石田 俊雄	採 択

ここが知りたい!

一般質問

質問者	質問内容	ページ
黒岩 巧 議員	住宅耐震改修補助制度の導入を	13
牧山 明 議員	バイオガス発電を導入すべき	14



▲ 質問に対し答弁する萩原町長

一般質問は議員2名が登壇
 一般質問とは、定例会において、各議員が住民の代表として町の考え方や疑問を正すものです。
 6月定例会では黒岩議員と牧山議員の2名が登壇し、一般質問を行いました(詳細については上表および13頁〜14頁参照)。

耐震改修補助や バイオガス BG発電導入求める



▲ 町長の答弁を受け、更に質問を行う牧山議員

照)。今回の一般質問において黒岩議員は住宅耐震改修補助制度などの導入について質問し、牧山議員は新エネルギーであるバイオガス発電導入に関する質問を行いました。
 なお、紙面の都合により、内容を要約して掲載しています。

補欠選挙

組合議会議員を
 選任しました

西吾妻衛生施設組合など3組合議会議員に欠員が生じたため、各組合議会議員を指名推選により選任しました。(6月13日・本会議)

選任された方については次のとおりです。(敬称略・順不同)

■西吾妻衛生施設組合議会議員
 ・入澤 勝彦

■西吾妻環境衛生施設組合議会議員
 ・入澤 勝彦
 ・牧山 明

■西吾妻福祉病院組合議会議員
 ・入澤 勝彦



黒岩 巧 議員

住宅耐震改修 補助制度の導入を

答 導入を検討していく

問 昨年11月、群馬県は耐震改修促進計画を改定した。県内住宅の耐震化率は80・5%だが、西北毛地域町村の低水準傾向が目立つ。なかでも本町は56%で県内25位である。

耐震診断補助制度は県内全町村で導入されているが、耐震改修補助制度は本町を含め13市町村が導入していない。今後の耐震診断の利用促進や耐震改修補助制度の導入を含め、本町は住宅耐震化についてどのように考えているのか。

答

本町においては平成21年度に耐震改修促進計画、木造耐震診

断者派遣事業実施要綱を策定するなど、耐震化の改善に努めてきたが耐震診断や改修の必要性を十分に周知することができなかった。

今後は県とも連携し、耐震改修促進計画を改定するとともに、現在行っている住宅改修助成制度の見直しを視野に、耐震改修補助制度の導入を検討していきたい。

問

木造耐震診断者派遣事業など、町民への周知が不足しているため積極的に制度を周知してほしい。

住宅の耐震改修となると、高齢者などは改修に高いお金をかけることが

できない部分もあるかと思う。最低限でも自宅の耐震診断を受け、万が一の際に起こりうるリスクを知っておくことは重要だと考える。様々なイベントを通し、町民へ周知することも必要ではないか。

耐震改修補助制度について、県内では補助率2分の1で上限80万円が多い。他市町村の状況を調査し、導入に向け取り組んでほしい。

また、「この地域には大きな地震がない」というような安全神話を信じている高齢者も多い。しかし、大きな地震がないと言われている熊本県の例がある。こういったことを念頭に置き、しっかりと地震に備えることができる事業を町が率先して取り組んでほしい。

答

議員指摘のとおりまずは耐震診断に

ついて周知していく必要があると考える。また、耐震診断補助事業について、診断者の交通費負担など、規定の整備が不十分な部分もある。要綱を整備し、耐震改修補助制度導入とあわせ、来年度に予算化できるよう取り組んでいきたい。

問

耐震診断補助や耐震改修補助については今年度中に方向性を出すとのことだが、耐震改修促進計画についても可能な限り早く改定し、周知をお願いしたい。

答

耐震改修促進計画については、できるだけ早く改定できるように努力したい。また、補助や計画以前に災害の恐ろしさや防災の重要性を周知し、町民の防災意識も高めていく必要があると考えている。



牧山 明 議員

バイオガス発電を 導入すべき

答 導入の可能性を検証

問

東日本大震災以来、風力や地熱、太陽光など原発に頼らない再生可能エネルギー発電事業が普及してきた。なかでもバイオガス発電は高い買い取り価格に後押しされ、酪農・畜産農家の多い北海道で急速に進んでいる。

本町においても酪農・畜産農家の家畜糞尿処理問題対策、液肥利用による化学肥料節減にあわせてバイオガス発電を導入するべきだと思うがどうか。

答

本町では平成27年度に「長野原町地域新エネルギービジョン」をまとめ、各種新工

エネルギーについて多角的に分析し、導入の可能性について総合的に評価したところ。

議員指摘のバイオガス発電は、有機ゴミの発酵によって生成したガスを燃焼させ、その熱を利用して発電するという新しい技術であり、再評価の必要がある新エネルギーであると考えている。今後については検討を行い、導入の可能性について検証したい。

問

例えば、北海道の士幌町では農協が個々の酪農家の庭先にコンパクトなプラントを設置し、酪農家が運営するような形をとっている。

それぞれの運営方法でメリットやデメリットはあるが、現地の視察等を行った上で検討し、買い取り価格が高い間に事業化ができるよう進めてほしい。

答

国も再生可能エネルギーを支持していることから、バイオガス発電について調査研究していくべきだと考えている。しかし、有機ゴミからガスを生成した後の残渣は肥料や液肥として使えるが、仮にこれを使用できない場合、新たに廃棄処分施設を作る必要が出てくる。そういった部分の理解を深めることも重要で、本町の酪農家の意識も高めていく必要がある。

私自身も大変興味のある新エネルギーだが勉強不足の部分もあるため、導入の可能性を追求する



▲ ガスを生成した後の残渣は肥料・液肥として二次利用が可能

問

ことも含め、是非視察の企画や検討をしたい。

農業振興、環境問題、新エネルギーや新しい産業の創生など、メリットが生まれるかどうかを検証する必要がある。積極的に取り組んで欲しい。

答

このシステムを上手く循環させることができれば、素晴らしい事業になる可能性がある。しっかりと取り組んでいきたい。

議会傍聴案内

あなたも
議会を傍聴しませんか？

次回定例会

9月 5日(火)
12日(火)
19日(火)

※発行日現在の予定

議会の様子はどなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される方は、議会開催日に直接議場（長野原町役場2階）までお越しください。

難しい手続きはなく、予約も不要です。受付簿に氏名など必須事項を記入の上、傍聴してください。会議中の入退室も自由です。

なお、開会時間は開催日によって異なります。傍聴を希望される際は長野原町議会事務局までお問い合わせください。

▶詳しくは長野原町議会事務局
(☎0279・82・3019)
までお問い合わせください。

活動報告①

片蓋川・濁沢 砂防堰堤 着工式

片蓋川・濁沢砂防堰堤着工式が5月21日(日)、浅間園を会場に行われ、全議員で出席しました。この事業は浅間山噴火時の減災対策として片蓋川・濁沢に砂防堰堤群を整備するもので、当日は式典前に各砂防堰堤の現場見学も行われ、現場を



▲ 着工式（鉄入れ）の様子

視察しながら本事業について詳細な説明を受けました。式典では本町議会議員をはじめ多数の来賓が出席し、鉄入れが行われました。

活動報告②

長野原諏訪大橋 中央長野原橋 開通式



▲ 式典で行われたテープカットの様子

長野原諏訪大橋・中央長野原橋の開通式が6月

24日(土)、町民広場を会場に行われ、全議員が出席しました。式典では多数の来賓が出席し、テープカットや通り初めが行われました。

活動報告③

ハツ場ダム 建設現場 現地視察

6月20日(火)、ハツ場ダムの現地視察を行い



▲ 本体工事現場の現地視察

ました。ハツ場ダム工事事務所による現地案内や説明を受けるなど、工事の進捗状況等を確認しました。

表紙の写真

長野原町防災フェスタ

長野原町防災フェスタが6月25日（日）、若人の館を会場に開催されました。

館内ステージエリアでは、群馬県警音楽隊による演奏や渋川広域消防本部による東日本大震災救助活動報告などが行われました。

屋外エリアでは屈折はしご車や地震体験車、自衛隊による軽装甲車の展示・乗車体験が行われるなど、親子で楽しみながら体験する姿がみられました。

また、館内フロアエリアでは非常食の試食や防災に関するパネルが展示されるなど、参加者の防災意識を高めるにふさわしいイベントとなりました。

(※) 全議員でイベントに参加しました。



屈折はしご車



▲ 群馬県警音楽隊による演奏



▲ 館内の様子



▲ 屋外エリアの様子

編集後記

5月16日（火）に開かれた議会臨時会で、浅沼議長をはじめ各委員会等の議会構成が一新されました。

八ッ場ダムの本体工事は、3年後の完成に向けた進捗率が20%を越えました。これに伴い、生活再建事業もスピード感を持って進めていく必要があります。役場新庁舎・住民総合センターも8月には着工され、来年10月末には完成の予定です。変わりゆく町の未来が素晴らしいものになるよう、議会としてしっかりとチェックしていかねればなりません。

広報委員

委員長

黒岩 巧

委員

浅井 明

富澤 重男